

教職員の皆さんへ

サマーセミナー受講生募集

平成25年度教職員サマーセミナー案内

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

15講座を開きます。詳細は、
総合教育センターのホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

宇都宮大学教育学部のホームページ

<http://ks001.kj.utsunomiya-u.ac.jp/>

に記載されています。

対象者

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

会場と時間

宇都宮大学において、9時30分から16時まで

申し込み方法

7月1日(月)までに、次のいずれかの方法により申し込んでください。

① FAXによる申込み

2ページ目のFAX送信票に必要事項を記入して送信してください。

FAX番号：028-649-5334

② メールによる申込み

勤務校名、同電話番号、同FAX番号、申込者氏名、研修区分、
受講希望講座番号、受講希望講座名を明記して次のアドレスに送信
してください。

ssc-1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

旅費等

総合教育センターや宇都宮大学では負担いたしません。受講する講座によっては、
教材費がかかる場合もありますので、御承知おきください。

その他

- ① このセミナーは、初任者研修、教職2～5年目研修、養護教諭2～5年目研修、
学校栄養職員2～5年目研修、教職10年目研修、教職20年目研修の選択研
修の対象にもなっています。
- ② 会場の宇都宮大学には自家用車で入構できます。大学へのアクセス及び構内案
内は、宇都宮大学教育学部ホームページで確認してください。
当日、正門案内所でもご案内をいたします。
- ③ このセミナーに関する問い合わせは、宇都宮大学教育学部スクールサポートセ
ンター（028-649-5272）で承ります。

主催 宇都宮大学教育学部・栃木県総合教育センター

平成 25 年度 教職員サマーセミナー受講申込み FAX 送信票

送 信 先	宇都宮大学教育学部 教職員サマーセミナー担当 宛			F A X	0 2 8 - 6 4 9 - 5 3 3 4
発 信 元 (申込者)	勤務校名	立			学校
	電話番号	— —	F A X 番号	— —	
	申 込 者 氏 名	(ふりがな)			
	研修区分	選択研修として受講を希望される方は、該当の口欄に ○ をご記入ください。			
	☐ 初 任 者 研 修	☐ 教 職 2 ～ 5 年 目 研 修	☐ 養護教諭 2 ～ 5 年 目 研 修		
	☐ 学校栄養職員 2 ～ 5 年 目 研 修	☐ 教 職 1 0 年 目 研 修	☐ 教 職 2 0 年 目 研 修		

希望	講座 番号	講 座 名	分 野	講 師	実施日	定員	対象教員	その他
	1	発育期における体育・スポーツ指導のあり方	保健体育	加藤 謙一	7月30日 (火)	20名	小・中・高・特	☒ 付した講座については、準備・注意事項等がありますのでホームページ参照の上、ご確認ください。
	2	グローバル化と外国人児童生徒教育	外国人児童生徒教育	田巻 松雄	7月30日 (火)	50名	小・中・高・特	☒
	3	実践を語りあおう ～保護者・地域とのコミュニケーション～	教育学	廣瀬 隆人	7月31日 (水)	20名	小・中・高・特	
	4	英語で行う英語授業	英語教育	渡辺 浩行	8月 1日 (木)	20名	高 (英語)	☒
	5	ヤング図形の数理	数学	三橋 秀生	8月 6日 (火)	20名	小・中・高・特	
	6	楽しみながら学べる理科実験	小学校理科	南 伸昌	8月 7日 (水)	25名	小	☒
	7	子どもの生活習慣と食育のあり方	食物学	大森 玲子	8月 8日 (木)	30名	小・中・高・特	
	8	校内授業研究を中心とした学校改善	教育学	松本 敏	8月 9日 (金)	50名	小・中・高・特	
	9	重い障害がある子どもとの教育的係わり合い	特別支援教育	岡澤 慎一	8月12日 (月)	30名	小・中・高・特	
	10	これだけは知っておきたい 道徳授業の基礎・基本	教育学・道徳教育	渡邊 弘	8月19日 (月)	30名	小・中	
	11	体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし (その3)	保健体育・コミュニケーション	茅野 理子	8月19日 (月)	35名	小・中・高・特	☒
	12	「音楽に関する知的財産権」入門	音楽	新井 恵美	8月20日 (火)	50名	中高 (音楽)	
	13	放射線について体験的に学ぼう	環境教育 理科教育	山田 洋一	8月21日 (水)	20名	小・中・高・特	
	14	ことばから見える古典の世界	日本語学	田和真紀子	8月21日 (水)	40名	小・中・高・特	☒
	15	授業に生かすプログラミング入門	情報	松原 真理	8月22日 (木)	20名	小・中・高・特	☒

(備 考)

- 参加を希望する講座の希望欄に○を付けてください。(複数選択可)
- 各講座の詳細は、総合教育センターまたは宇都宮大学教育学部のホームページでご確認ください。
- 申込期限は、7月1日(月)です。
- 定員を超えた場合は、選択研修として受講される方を優先し、他は先着順とします。多少の増員をする場合もあります。
- 受講の可否は、7月中旬頃に各所属長に通知します。
- 申込みの際は、本送信票をコピーしてお使いください。

講座案内

1. 会場・開講時間は、宇都宮大学・9時30分～16時です。
2. 講座によっては、定員を超えて受け付けることができない場合があります。
3. 締め切り後、7月中旬頃までに所属機関宛に受講の可否をご連絡致します。

7月30日(火)

分野:保健体育

1：発育期における体育・スポーツ指導のあり方

講師：加藤 謙一

会場：教育学部理科棟2F 大会議室及び第一体育館

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：20名

準備等：トレーニングウェア（着替え等）、体育館シューズ、はさみ
講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい（見学可）。実技内容はハードではないのでご安心下さい。

概要： 現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。

7月30日(火)

分野:外国人児童生徒教育

2 : グローバル化と外国人児童生徒教育

講 師 : 田巻 松雄 (国際学部)、若林 秀樹 (国際学部)

会 場 : 教育学部A棟3F 2301教室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 50名

準備等 : 外国人児童生徒教育への関わり・興味・経験等に関する簡単なアンケートを事前にお願したいと思います。

概 要 : グローバル化に伴って問題化している外国人児童生徒教育問題について、学校現場の経験を踏まえた視点からより良き支援について考えるとともに、進路調査結果から地域間格差の現状と政策対応について考えます。

1. 外国人児童生徒教育問題とは何か (1)
2. 学校現場における基本的な支援の形
3. 最新の外国人児童生徒教育の動向は何か (2)
4. 外国人児童生徒教育の現状と課題
5. 進路調査結果から地域間格差とそれへの対応
6. 地域間格差とそれへの対応

7月31日(水)

分野:教 育 学

3 : 実践を語り合おう～保護者・地域とのコミュニケーション～

講 師 : 廣瀬 隆人 (地域連携教育研究センター)

会 場 : 地域連携教育研究センター (旧生涯学習教育研究センター)
A講義室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 20名

準備等 : 特になし

概 要 : 参加者がお互いの実践や課題、日頃、問題と感じていることなどを中心に語り合い、解決策を見つけ出していきます。特に保護者とのコミュニケーションが中心になりますが、それ以外のことも構いません。資料などを用意する必要はありません。

8月 1日(木)

分野:英 語 教 育

4 : 英語で行う英語授業

講 師 : 渡辺 浩行

会 場 : 教育学部 A 棟 2 F 小会議室

対象教員 : 高等学校 (英語教員)

定 員 : 20 名

準備等 : 授業で使用している英語教科書、付属 CD、授業で用いたワークシート

概 要 : 学習指導要領では、高等学校の英語授業は英語で行うようになっています。その具体的な授業内容と授業方法はどのようなものが望ましく、現実的に高等学校英語教師はどのような考え方、指導技術を持つべきなのでしょう。以上について、「録画授業視聴による授業分析、リフレクション、意見交換」「使用している教科書を用いての授業案作成と模擬授業」を実施し、参加者が協力し合いながら「英語で授業」の授業作りを学び合います。

8月 6日(火)

分野:数 学

5 : ヤング図形の数理

講 師 : 三橋 秀生

会 場 : 教育学部 A 棟 2 F 2203 教室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 20 名

準備等 : 特になし

概 要 : 本講座では、組合せ数学の中から、他分野とのつながりを深めながら、現在も活発な研究がおこなわれている、ヤング図形について紹介します。ヤング図形に関する恒等式や、ヤング図形に対する操作を通じ、ヤング図形の代表的な性質を考察します。

8月7日(水)

分野:小 学 校 理 科

6 : 楽しみながら学べる理科実験

講 師 : 南 伸昌

会 場 : 教育学部理科棟3F 理科教育学学生実験室

対象教員 : 小学校

定 員 : 25名

準備等 : 安全めがね(貸し出し有)、タオル

実験しやすい、楽な格好で来て下さい。内容が一部変更される場合もあります。

概 要 : 実験や工作を通じて理科を楽しむ方法を紹介します。

- ・磁石と電磁石 : 磁石の構造、電磁石の工作
- ・電気の利用 : 発電・蓄電、電気の変換・利用
- ・水溶液の性質 : 紫イモ指示薬、酸・アルカリと物質の安定性
- ・燃焼の仕組み : 炎の性質、燃える条件、固体・液体・気体の燃焼

その他、時間に応じて物と重さ、ゴムの働き、水の三態変化などの実験・工作を紹介します。

8月8日(木)

分野:食 物 学

7 : 子どもの生活習慣と食育のあり方

講 師 : 大森 玲子

会 場 : 教育学部A棟2F 2202教室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 30名

準備等 : 特になし

概 要 : 大人のみならず子どもにおいても生活習慣病は増加しており、その予防と対策が喫緊なる課題とされています。生活習慣病を早期から予防するためにも、食への興味関心を高める食育に期待が寄せられています。本セミナーでは食と健康に関する我が国の状況等について把握した後、子どもの生活習慣や学校現場における食育実践について、現状や課題を共有しながら、今後の食育のあり方を探りたいと思います。

8月9日(金)

分野:教 育 学

8 : 校内授業研究を中心とした学校改善

講 師 : 松本 敏

会 場 : 教育学部理科棟2F 大会議室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 50名

準備等 : 特になし

概 要 : 一人一人の教員の力量を高めることが大切なのはもちろんですが、それだけでは学校全体の力は高まりません。どうすれば同僚性を高め、個々の力を結集できるのでしょうか。校内授業研究を継続することで学校が活性化する道筋を、私が実際に関わった小・中学校の経験をもとに考えます。

8月12日(月)

分野:特別支援教育

9 : 重い障害がある子どもとの教育的係わり合い

講 師 : 岡澤 慎一

会 場 : 教育学部A棟2F 2201教室

対象教員 : 主に特別支援学校とするが、限定するものではない。

定 員 : 30名

準備等 : 特になし

概 要 : ここでは、重い障害がある子どもとの教育的係わり合いにおいて重要になる視点について、長期間にわたる教育実践の経過に関する映像資料をふんだんに用いながら検討を進めます。特に、コミュニケーションにおける共同性と相互性、子どものイニシアチブ、探索活動および実践と省察の循環過程などに焦点をおきます。こうした取り組みのなか、重い障害がある子どもへの教育は、教育の原点であるといわれる意味を見出していたいただければと思います。

8月19日(月)

分野:教育学・道徳教育

10 : これだけは知っておきたい 道徳授業の基礎・基本

講 師 : 渡邊 弘

会 場 : 教育学部A棟2F 2203教室

対象教員 : 小学校・中学校

定 員 : 30名

準備等 : なし

概 要 : 本講座では、小・中学校の道徳の授業を行う際、これだけは理解しておいてほしいという基礎・基本的な内容を、特に読み物資料について実践的な事例を紹介しながら受講生とともに考えていきます。また、体験活動・言語活動を生かした道徳授業のあり方や道徳教育全体計画の作成方法、さらには道徳の時間と教科・領域との連携のあり方（短期連関型の横断的道徳学習）なども考えていきます。

8月19日(月)

分野:保健体育・コミュニケーション

11 : 体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし (その3)

講 師 : 茅野 理子

会 場 : 第二体育館

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 35名

準備等 : 実技のできる服装。体育館シューズ（裸足になる場合もあり）。バスタオル。

概 要 : 体や心の緊張をほぐすとともに人間関係の緊張をほぐす様々な「遊び」の実践——今回は、「その3」として、学級活動に応用できる遊び、「体ほぐしの運動」や「表現運動」・「ダンス」の授業に発展する遊びを実践します。思いっきり笑って、楽しく他者と交流し…さらには、遊んでいるうちに、いつの間にか運動会・体育祭作品ができてい…そのような実践を目指します。

8月20日(火)

分野:音

楽

12:「音楽に関する知的財産権」入門

講師:新井 恵美

会場:教育学部F棟1F 2103教室

対象教員:中学校音楽科・高等学校芸術科音楽担当

定員:50名

準備等:特になし

概要:平成24年度から中学校、25年度から高等学校で扱うことになった「音楽に関する知的財産権」について講義を行います。

知的財産法の種類と概要の説明から入り、特に著作権法について全体像を見ていきます。また、学習指導要領に記載されている著作者の権利、著作隣接権等について解説します。

8月21日(水)

分野:環境教育・理科教育

13:放射線について体験的に学ぼう

講師:山田 洋一、堀田 直己

会場:教育学部A棟2F 2201教室 及び 基礎物理実験室

対象教員:小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員:20名

準備等:特になし

概要:講義 (1) 文科省他の資料紹介, 栃木県内の測定事例報告(山田)
(2) 放射線とサーベイメーターの原理説明(堀田)

体験1 教材を用いた放射線測定実習(堀田・山田)

体験2(実験室) 放射線を見る(霧箱)実験(堀田・山田)

ワークショップ及び講義(教室)

(1) 体験活動1, 2のまとめ(堀田・山田)

(2) 受講者による話し合い(ワークショップ)

(3) リスクとベネフィット, ホルミシス(山田)

(4) 質疑応答

講座のまとめと事後アンケート(山田)

8月21日(水)

分野:日 本 語 学

14 : ことばから見える古典の世界

講 師 : 田和 真紀子

会 場 : 教育学部A棟3F 2301教室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 40名

準備等 : 古語辞典(電子辞書で可)

概 要 : 古典作品というと、どの時代の作品も「古語で書かれた文芸作品」という一括りの扱いになりますが、実はことばの使い方や意味が時代ごとに違うのです。

違いに注目すると、各時代—例えば平安時代と室町時代など—のことばの使い方の違い、さらにはものの考え方・捉え方の違いが見えてきます。今回は特に「ものごとの程度を表すことば」に注目して、ことばに表れた各時代の人々のものの捉え方・考え方に触れてみたいと思います。

8月22日(木)

分野:情 報

15 : 授業に生かすプログラミング入門

講 師 : 松原 真理

会 場 : 教育学部A棟2F 計算機演習室

対象教員 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員 : 20名

準備等 : USB メモリ

プログラムの知識は必要ないが、日常でPCを使っていること。

概 要 : VBA(Visual Basic for Application)を用いたプログラム作成の基礎を学びます。この言語は、EXCELに付随しているものであり、これを使いこなせば非常に便利な機能です。演習中心に学び、技術科の情報分野だけでなく、その他の教科の教材を作製できる能力を身に付けることを目的とします。